

## **(2) 障害者スポーツ施設に関する調査**

---

## 主な調査結果

### **障害者スポーツ施設は全国に114か所。設置者は6割が市町村**

障害者専用の、又は障害者が優先的に利用できる「障害者スポーツ施設」は全国に114か所設置されている。設置者は都道府県が45か所、市町村が68か所(内、政令指定都市21か所)であった。施設のおよそ8割は1990年までに設置されている。【図表2-2、2-3、2-4】

### **8割以上が指定管理者に管理運営を委託。社会福祉協議会等が6割以上**

障害者スポーツ施設の管理運営主体の8割以上が指定管理者であった。指定管理者の内訳は、「社会福祉協議会・社会福祉事業団・リハビリテーション事業団」が6割以上を占めていたが、「体育協会・スポーツ振興事業団」が指定管理者となっている場合も約1割見られた。また、7施設については、「障害者スポーツ協会」が施設を管理運営している現状も明らかとなった。【図表2-5、2-6】

### **体育館はほとんどの施設に整備。単体施設が3割**

障害者スポーツ施設に整備されている施設で最も多かったのは、「体育館」で9割を超えている。また、「トレーニング室」「プール」が整備されている施設は約4割、「グラウンド」「アーチェリー場」が整備されている施設は約2割であった。付帯施設数を見ると、単体の施設が3割以上、付帯施設が2種類の施設が2割以上で、合計すると5割を超えることが分かった。【図表2-7、2-8】

### **利用者の大半は「肢体不自由」と「知的障害」**

障害別に利用者が分かる施設(53か所)について、2011年度の利用者数を見ると、最も多かったのは、「肢体不自由」の約85万人、次いで「知的障害」の約49万人となっており、これらの障害で利用者の大半を占めていた。【図表2-9】

### **都市部の大規模施設には専門性の高い障害者スポーツ指導員が配置**

「体育館」「プール」「グラウンド」などの付帯施設が5種類以上の障害者スポーツ施設は、人口の多い都道府県や指定都市に設置されていることが多く、必ず有給又は有償のスポーツ指導者が配置されていた。さらに、ほとんどの施設において、日本障害者スポーツ協会の中級障害者スポーツ指導員、又は、上級障害者スポーツ指導員が配置されていた。【図表2-12】

### **大規模施設では施設から離れた地域の障害者への「出前」にも積極的**

初心者からアスリートまでを対象に幅広いプログラムを展開する東京都障害者総合スポーツセンター、リハビリテーションセンターとの連携を特徴とする横浜ラポール、健全者の施設利用で収益確保を目指す北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」。大都市にあるこれら施設は、教室や大会といった施設利用者に対するサービスに加えて、施設から離れた地域の障害者を対象とした巡回スポーツ指導(出前教室)などにも積極的に取り組んでいる。

## 1. 調査概要

---

### 1. 1 調査目的

我が国の障害者スポーツ関連施設の現状を明らかにし、障害者スポーツの普及、振興状況を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

### 1. 2 調査対象

全国の障害者スポーツ専用施設、又は障害者が優先的に利用できるスポーツ施設を対象とした。

### 1. 3 調査方法及び回収結果

#### 【調査 1】質問紙調査

##### (1) 調査方法

記名式の質問紙調査

回答は、郵送、電子メールで受け付けた。

##### (2) 調査内容

- ◆ 設置及び管理状況について  
名称、設置年、設置種別、設置者、管理運営状況、指定管理者など
- ◆ 付帯設備設置状況について  
付帯施設の新設・変更・廃止など
- ◆ 利用者数について  
2010年度、2011年度の総利用者数、障害者の利用者数、障害別の利用者数など
- ◆ 指導者について  
有給・有償のスポーツ指導者数、有資格者の有無、有資格者人数など
- ◆ 実施事業について  
年間実施事業、障害者スポーツ指導者に関する養成講習会、研修会など
- ◆ 運営について  
リハビリテーションセンター・障害者スポーツ協会との関係など

##### (3) 調査期間

2012年12月5日～2013年1月31日

## 【調査2】事例調査(ヒアリング調査)

### (1) 調査方法

地域における障害者専用・優先スポーツ施設の実態を明らかにするために、以下の3施設の担当者に対して聞き取り調査を実施した。

#### ①東京都障害者総合スポーツセンター

初心者からアスリート、軽度障害者から重度障害者まで、様々なニーズに合った支援プログラムを専門家と連携しながら実施している障害者専用のスポーツ施設である。

#### ②障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)

スポーツを通して、障害者のQOL向上とノーマライゼーション社会の実現を図るため、リハビリテーション的観点から、障害者に自立した活動を促し、社会参加機会の増加を創出している。

#### ③北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」

民間フィットネス施設を障害者スポーツ施設に改装し、健常者向けのプログラムも提供。利用者の満足度を確保しながら、収益性を高めるモデルを目指している。

### (2) 調査内容

施設概要(設置者、指定管理者)、施設の特長、運営状況(実施事業、体制、運営費、利用者数、利用料金)など

### (3) 調査期間

2012年8月～2012年11月

## 2. 調査結果(質問紙調査)

### 2. 1 障害者スポーツ施設の定義と特徴

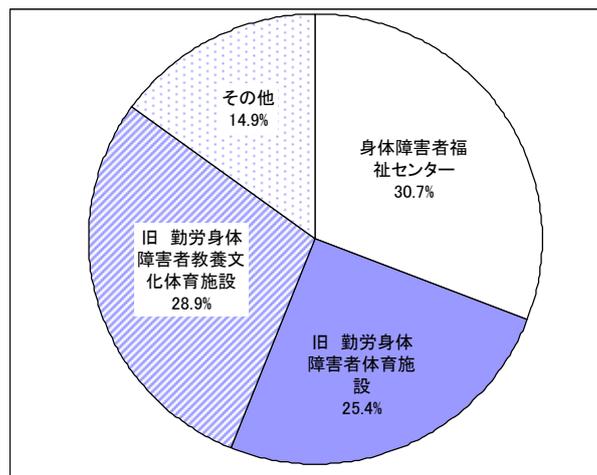
我が国の公共施設の中には、障害者専用の、あるいは障害者が優先的に利用できるスポーツ施設が存在する。これらの施設を「障害者スポーツ施設」と定義し、その数を調べた。図表 2-2 に示したとおり、2012 年度現在、障害者スポーツ施設は全国に 114 か所存在する。

都道府県ごとに見ると、全ての都道府県で少なくとも一つは障害者スポーツ施設が設置されている。おおむね人口規模に応じて施設数が多い傾向が見られ、兵庫県(7か所)、愛知県(6か所)、大阪府(6か所)、福岡県(5か所)、群馬県(4か所)は、4か所以上の施設が設置されている。

#### (1) 設置根拠による分類

図表 2-1 には、建設時の設置根拠による障害者スポーツ施設の種類を示した。「身体障害者福祉センター」(30.7%)、「旧 勤労身体障害者体育施設」(25.4%)、「旧 勤労身体障害者教養文化体育施設」(28.9%)が全体の 8割以上を占めている。「身体障害者福祉センター」の割合が若干多いものの、3種類の施設はほぼ同じ割合となっている。

図表 2-1 設置根拠による障害者スポーツ施設の種類(N=114)



図表 2-2 障害者スポーツ施設(障害者専用・優先施設)一覧

都道府県	番号	名 称	住 所	設置根拠別 施設分類	設置者	設置年
北海道	1	札幌市身体障害者福祉センター	〒063-0802 北海道札幌市西区二十四軒2条6-1-1	A型	札幌市	1978
	2	苫小牧市中心障害者福祉センター	〒053-0018 北海道苫小牧市旭町2-1-11	その他	苫小牧市	1982
	3	サン・アビリティーズくしろ	〒084-0905 北海道釧路市鳥取南7-2-20	教・文体育	釧路市	1982
青森県	4	青森県身体障害者福祉センター (ねむのき会館)	〒030-0122 青森県青森市大字野尻字今田52-4	A型	青森県	1973
	5	八戸福祉体育館	〒031-0001 青森県八戸市類家4-3-1	体育	八戸市	1978
岩手県	6	ふれあいランド岩手	〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳8地割1-3	その他	岩手県	1994
	7	岩手県勤労身体障がい者体育館	〒020-0122 岩手県盛岡市青山4-12-31	体育	岩手県	1977
	8	サン・アビリティーズ一関	〒021-0821 岩手県一関市三関字桜町36-3	教・文体育	一関市	1985
宮城県	9	宮城県障害者総合体育センター	〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-1	体育	宮城県	1974
	10	元気フィールド仙台	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東4-1-1	その他	仙台市	2007
秋田県	11	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター	〒010-1602 秋田県秋田市新屋下川原町2-4	体育	秋田県	1976
	12	大館市立中央公民館 (旧 サンアビリティーズ大館)	〒017-0822 秋田県大館市桜町南45-1	教・文体育	大館市	1985
	13	秋田県社会福祉会館	〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1-5	A型	秋田県	1986
山形県	14	山形福祉体育館	〒990-0021 山形県山形市小白川町2-3-33	体育	山形市	1981
福島県	15	郡山市障害者福祉センター	〒963-8833 福島県郡山市香久池1-15-15	教・文体育	郡山市	1983
	16	いわきサン・アビリティーズ	〒972-8321 福島県いわき市常磐湯本町上浅貝5-1	教・文体育	いわき市	1986
	17	福島県勤労身体障がい者体育館	〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字真船字芝原29-3	体育	福島県	1976
茨城県	18	水戸サン・アビリティーズ	〒310-0913 茨城県水戸市見川町2563-705	教・文体育	水戸市	1996
	19	鳩ヶ丘スポーツセンター	〒317-0065 茨城県日立市助川町5-11-3	体育	日立市	1983
栃木県	20	宇都宮市サン・アビリティーズ	〒321-0112 栃木県宇都宮市屋敷町251-1	教・文体育	宇都宮市	1984
	21	若草アリーナ	〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6	A型	栃木県	2003
	22	足利市民プラザ身体障害者スポーツセンター	〒326-0823 栃木県足利市朝倉町264	体育	足利市	1979
群馬県	23	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町238-3	その他	群馬県	1991
	24	高崎身体障害者体育センター	〒370-0035 群馬県高崎市柴崎町1746	体育	高崎市	1998
	25	前橋サン・アビリティーズ	〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町539-2	教・文体育	前橋市	1983
埼玉県	26	群馬県立ゆあひビック記念温水プール	〒377-0006 群馬県渋川市行幸田3011	その他	群馬県	1997
	27	埼玉県障害者交流センター	〒330-8522 埼玉県さいたま市浦和区大原3-10-1	A型	埼玉県	1990
	28	所沢サン・アビリティーズ	〒359-0025 埼玉県所沢市大字上安松1286-7	教・文体育	所沢市	1984
千葉県	29	千葉県障害者スポーツレクリエーションセンター (サン・アビリティーズ千葉)	〒263-0016 千葉県千葉市稲毛区天台6-5-1	教・文体育	千葉県	1985
	30	千葉市療育センター ふれあいの家	〒261-0003 千葉県美浜区高浜4-8-3	その他	千葉市	1981
東京都	31	東京都多摩障害者スポーツセンター	〒186-0003 東京都国立市富士見台2-1-1	A型	東京都	1984
	32	東京都障害者総合スポーツセンター	〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2	A型	東京都	1986
	33	全国身体障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)	〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1	A型	国(厚生労働省)	1984
神奈川県	34	障害者スポーツ文化センター (横浜ラポール)	〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752	A型	横浜市	1992
	35	藤沢市太陽の家心身障害者福祉センター	〒251-0037 神奈川県藤沢市鶴沼海岸6-6-12	体育	藤沢市	1975
	36	サン・アビリティーズ相模原 (けやき体育館)	〒252-0236 神奈川県相模原市中央区富士見6-6-23	教・文体育	相模原市	1988
新潟県	37	新潟県障害者交流センター(新潟ふれあい愛プラザ)	〒950-0121 新潟県新潟市江南区亀田向陽1-9-1	A型	新潟県	1997
	38	上越市勤労身体障害者体育館	〒943-0805 新潟県上越市木田1-17-33	体育	上越市	1979
富山県	39	富山勤労身体障害者体育センター	〒939-3521 富山県富山市水橋島等298-2	体育	富山市	1979
	40	サン・アビリティーズ滑川	〒936-0023 富山県滑川市柳原1537-2	教・文体育	滑川市	1984
石川県	41	小松サン・アビリティーズ	〒923-0302 石川県小松市符津町念仏ヶ2-7	教・文体育	小松市	1985

都道府県	番号	名 称	住 所	設置根拠別 施設分類	設置者	設置年
福井県	42	福井県社会福祉センター	〒910-8516 福井県福井市光陽2-3-22	A型	福井県	1981
山梨県	43	あけぼの医療福祉センター	〒407-0046 山梨県韭崎市旭町上条南割3251-1	体育	山梨県	1974
長野県	44	長野県障害者福祉センター (サンアップル)	〒381-0008 長野県長野市下駒沢586	A型	長野県	1998
	45	サンスポート駒ヶ根	〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694長野県看護大学内	その他	長野県	2003
岐阜県	46	勤労身体障害者等市民プール	〒503-0804 岐阜県大垣市ノ江3-1-3	体育	大垣市	1977
	47	岐阜県福祉友愛プール	〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-2	その他	岐阜県	1981
静岡県	48	静岡県身体障害者福祉センター	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70	A型	静岡県	1983
	49	浜松市天竜障害者体育館	〒431-3423 静岡県浜松市天竜区渡ヶ島20-16	体育	浜松市	1977
愛知県	50	名古屋市民障害者スポーツセンター	〒465-0055 愛知県名古屋市中区東区勢子坊2-1501	A型	名古屋市	1981
	51	名古屋市総合リハビリテーションセンター (福祉スポーツセンター)	〒467-8622 愛知県名古屋市中区瑞穂区彌富町字密柑山1-2	A型	名古屋市	1989
	52	愛知勤労身体障害者体育館	〒495-0001 愛知県稲沢市祖父江町祖父江寺西14-5	体育	愛知県	1960
	53	サン・アビリティーズ豊田	〒471-0062 愛知県豊田市西山町5-2-6	教・文体育	豊田市	1987
	54	春日井市福祉文化体育館 (サン・アビリティーズ春日井)	〒486-0857 愛知県春日井市浅山町1-2-61	教・文体育	春日井市	2003
	55	豊橋市障害者福祉会館	〒440-0812 愛知県豊橋市東新町15	A型	豊橋市	1982
三重県	56	三重県身体障害者総合福祉センター	〒514-0113 三重県津市一身田大古曾670-2	A型	三重県	1985
	57	四日市市障害者体育センター	〒510-0943 三重県四日市市西日野町4070-1	体育	三重県	1979
滋賀県	58	滋賀県立障害者福祉センター	〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-5-130	A型	滋賀県	1990
	59	信楽体育館	〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野1310	体育	甲賀市	1978
京都府	60	京都市障害者教養文化体育会館	〒601-8155 京都府京都市南区上鳥羽塔の森上河原37-4	教・文体育	京都市	1987
	61	京都市障害者スポーツセンター	〒606-8106 京都府京都市左京区高野玉岡町5	A型	京都市	1988
	62	サン・アビリティーズ城陽	〒610-0113 京都府城陽市中芦原	教・文体育	京都府	1983
大阪府	63	大阪府立稲スポーツセンター	〒562-0015 大阪府箕面市稲6-15-26	その他	大阪府	1996
	64	大阪市長居障がい者スポーツセンター	〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-32	A型	大阪市	1974
	65	大阪市舞洲障害者スポーツセンター (アミティ舞洲)	〒554-0041 大阪府大阪市此花区北港白津2-1-46	A型	大阪市	1997
	66	大阪府立障がい者交流促進センター (ファインプラザ大阪)	〒590-0137 大阪府堺市南區城山台5-1-2	A型	大阪府	1981
	67	堺市立健康プラザ	〒590-0808 大阪府堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1	A型	堺市	2012
	68	岸和田サン・アビリティーズ	〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4-6-18	教・文体育	岸和田市	1982
兵庫県	69	兵庫県立障害者スポーツ交流館	〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070 総合リハビリテーションセンター内	体育	兵庫県	1975
	70	こうべ市民福祉交流センター (神戸市立市民福祉スポーツセンター)	〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通3-1-32	その他	神戸市	1994
	71	しあわせの村	〒651-1102 兵庫県神戸市北区山田町下谷上字中一里	その他	神戸市	1989
	72	西宮市総合福祉センター	〒662-0913 兵庫県西宮市染殿町8-17	A型	西宮市	1985
	73	サン・アビリティーズにしのみや	〒662-0912 兵庫県西宮市松原町2-41	教・文体育	西宮市	1986
	74	神戸市立心身障害福祉センター	〒652-0802 兵庫県神戸市兵庫区水木通2-1-10	A型	神戸市	1977
	75	神戸市立王子スポーツセンター	〒657-0805 兵庫県神戸市灘区青谷町1-1	その他	神戸市	1978
奈良県	76	奈良県心身障害者福祉センター	〒636-0344 奈良県磯城郡田原本町宮森34-4	A型	奈良県	1979
	77	奈良市総合福祉センター	〒631-0801 奈良県奈良市左京5-3-1	教・文体育	奈良市	1986
	78	天理市障害者ふれあいセンター	〒632-0052 奈良県天理市柳本町719	教・文体育	天理市	1983
和歌山県	79	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見1437-218	A型	和歌山県	1995
鳥取県	80	鳥取県立障害者体育センター	〒680-0947 鳥取県鳥取市湖山町西3-129	その他	鳥取県	1978
	81	米子サン・アビリティーズ	〒683-0003 鳥取県米子市皆生3-16-20	教・文体育	米子市	1986
島根県	82	島根県立はつらつ体育館	〒690-0015 島根県松江市上乃木7-1-27	体育	島根県	1979
	83	サン・アビリティーズいずも	〒693-0001 島根県出雲市今市町北本町3-1-20	教・文体育	出雲市	1987

都道府県	番号	名称	住所	設置根拠別 施設分類	設置者	設置年
岡山県	84	岡山市障害者体育センター	〒700-0843 岡山県岡山市北区二日市町56	体育	岡山市	1981
広島県	85	広島市心身障害者福祉センター	〒732-0052 広島県広島市東区光町2-1-5	A型	広島市	1982
	86	広島県立障害者リハビリテーションセンター (スポーツ交流センター・おりづる)	〒739-0036 広島県東広島市西条町田口295-3	A型	広島県	1996
	87	福山市障害者体育センター	〒721-0964 広島県福山市港町1-11-10	体育	福山市	1977
山口県	88	下関市障害者スポーツセンター (山口勤労身体障害者体育施設)	〒751-0823 山口県下関市貴船町3-4-1	体育	下関市	1978
	89	サン・アビリティーズ光	〒743-0075 山口県光市室積沖田6-1	教・文体育	光市	1987
	90	山口県身体障害者福祉センター	〒753-0092 山口県山口市八幡馬場36-1	A型	山口県	1974
徳島県	91	徳島県立障害者交流プラザ	〒770-0005 徳島県徳島市南矢三町2-1-59	その他	徳島県	2006
香川県	92	かがわ総合リハビリテーションセンター	〒761-8057 香川県高松市田村町1114	A型	香川県	1986
愛媛県	93	愛媛県身体障害者福祉センター	〒790-0843 愛媛県松山市道後町2-12-11	A型	愛媛県	1972
	94	サン・アビリティーズ今治	〒799-1502 愛媛県今治市喜田村2-1-10	教・文体育	今治市	1986
高知県	95	高知県立障害者スポーツセンター (高知勤労身体障害者体育館)	〒781-0313 高知県高知市春野町内ノ谷1-1	体育	高知県	1996
福岡県	96	福岡市立障がい者スポーツセンター	〒815-0031 福岡県福岡市南区清水1-17-15	A型	福岡市	1984
	97	クローバープラザ	〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7	その他	福岡県	1996
	98	北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」	〒802-0803 福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘10-5	その他	北九州市	2012
	99	サン・アビリティーズいいづか	〒820-0011 福岡県飯塚市柏の森956-4	教・文体育	飯塚市	1983
	100	サン・アビリティーズおおむた	〒836-0004 福岡県大牟田市大字手鎌1380-3	教・文体育	大牟田市	1984
佐賀県	101	サン・アビリティーズ佐賀	〒840-0851 佐賀県佐賀市天祐1-8-5	教・文体育	佐賀県	1982
長崎県	102	長崎市障害福祉センター (もちまちハートセンター)	〒852-8104 長崎県長崎市茂里町2-41	A型	長崎市	1992
	103	諫早市新道福祉交流センター	〒854-0045 長崎県諫早市新道町999-1	体育	諫早市	1980
	104	サン・アビリティーズ佐世保	〒857-0852 長崎県佐世保市千尽町3-100	教・文体育	佐世保市	1986
熊本県	105	熊本県身体障がい者福祉センター (熊本勤労身体障害者体育館)	〒861-8039 熊本県熊本市長嶺南2-3-2	A型	熊本県	1975
	106	希望の里サン・アビリティーズ	〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1786	教・文体育	宇城市	1987
大分県	107	大分県身体障害者福祉センター	〒870-0907 大分県大分市大津町2-1-41	A型	大分県	1986
	108	別府市身体障害者福祉センター	〒874-0835 大分県別府市大字鶴見4310-2	体育	別府市	1990
宮崎県	109	宮崎市身体障害者体育センター	〒880-0916 宮崎県宮崎市恒久5132	体育	宮崎市	1980
	110	サン・アビリティーズ都城	〒885-0094 宮崎県都城市都原町3369	教・文体育	都城市	1985
鹿児島県	111	鹿児島県立ゆずの里	〒899-2503 鹿児島県日置市伊集院町妙円寺1-1-1	体育	鹿児島県	1964
	112	サン・アビリティーズ川内	〒895-0005 鹿児島県薩摩川内市永利町4107-2	教・文体育	薩摩川内市	1987
	113	鹿児島県障害者自立交流センター (ハートピア鹿児島)	〒890-0021 鹿児島県鹿児島市小野1-1-1	その他	鹿児島県	2000
沖縄県	114	サン・アビリティーズうらぞえ	〒901-2126 沖縄県浦添市宮城4-11-1	教・文体育	浦添市	1982

注1) 設置根拠別施設分類

- ・A型: 身体障害者福祉センター(A型)
- ・体育: 旧 勤労身体障害者体育施設
- ・教・文体育: 旧 勤労身体障害者教養文化体育施設(サン・アビリティーズ)
- ・その他: 上記3施設以外の設置根拠に基づく施設

注2) 番号が白抜きの24施設は、(公財)日本障害者スポーツ協会の障害者スポーツセンター協議会に加盟している。

注3) 大阪府立稲スポーツセンターは新体育館建設のため、2011年10月から2014年1月まで休館

## (2) 障害者スポーツ施設の設置根拠

### ①身体障害者福祉センター(A型)

「身体障害者福祉法」第31条に明記されている身体障害者福祉センターのうち、更生相談、機能訓練、スポーツ及びレクリエーションの指導、ボランティアの養成、身体障害者社会参加支援施設の職員に対する研修、その他身体障害者の福祉の増進を図る事業を総合的に行う施設で、「身体障害者社会参加支援施設の設置及び運営に関する基準」に設置基準が定められている。建築面積2,700㎡以上で、体育館、プール、機能訓練回復室のほか会議室、研修室などを備えている。

### ②旧 勤労身体障害者体育施設

1961年に設立された雇用促進事業団(現 独立行政法人雇用・能力開発機構)が、勤労身体障害者の福祉の増進を図るとともに、その雇用の安定に資することを目的に設置した施設で、「勤労身体障害者体育施設」と呼ばれていたもの。1975年1月から1980年度までに設置された。

### ③旧 勤労身体障害者教養文化体育施設(サン・アビリティーズ)

「勤労身体障害者体育施設」と同様、雇用促進事業団が勤労身体障害者の機能の回復向上、健康の増進、コミュニケーション及び教養・文化等の施設を提供し、もって雇用の安定と福祉の増進に資することを目的として設置した施設で、「勤労身体障害者教養文化体育施設(サン・アビリティーズ)」と呼ばれていたもの。1981年度から1986年度までに設置された。

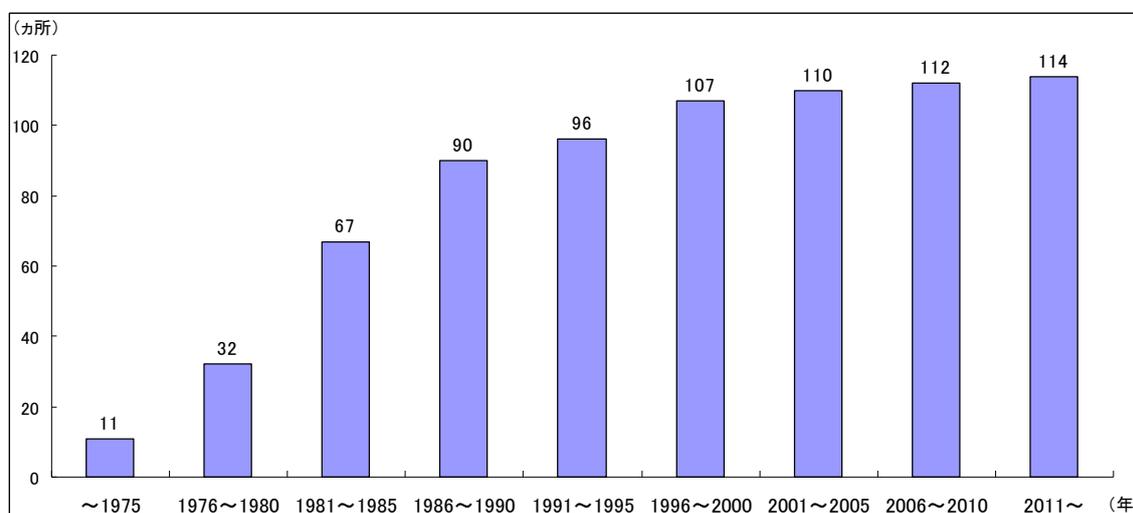
### ④その他

上記3施設以外の様々な設置根拠に基づき、地方自治体が設置しているもの。

## (3) 障害者スポーツ施設の設置年

図表2-3には、障害者スポーツ施設の設置数の推移を示した。施設の約8割にあたる90か所が1990年までに設置されており、2001年以降は7か所の設置にとどまっている。

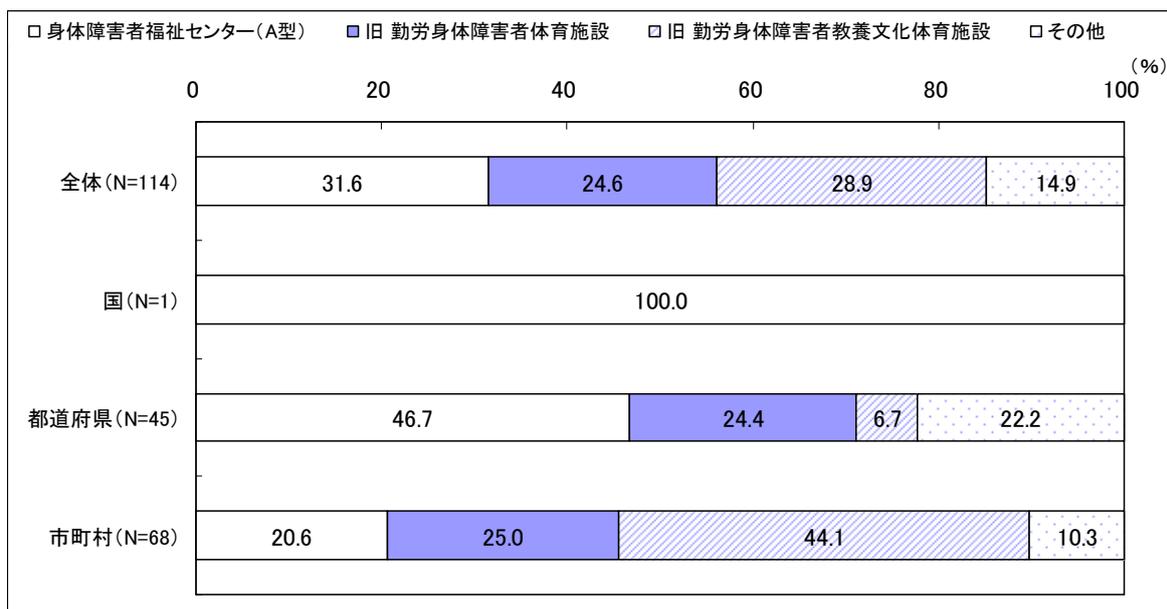
図表 2-3 障害者スポーツ施設の設置数の推移



#### (4) 障害者スポーツ施設の設置者

障害者スポーツ施設の設置者を見ると、114か所のうち、国が1か所、都道府県が45か所、市町村が68か所と、約6割が市町村による設置となっている。市町村68か所のうち、21か所が指定都市に設置されている。また、図表2-4には、障害者スポーツ施設の設置者別に設置根拠を示した。全体では、「身体障害者福祉センター(A型)」「旧 勤労身体障害者体育施設」「旧 勤労身体障害者教養文化体育施設」がそれぞれ3割程度とほぼ同じ割合であったのに対し、都道府県では「身体障害者福祉センター(A型)」が46.7%とおよそ半数に上る。一方、市町村では「旧 勤労身体障害者教養文化体育施設」(サン・アビリティーズ)が44.1%と4割以上を占めている。

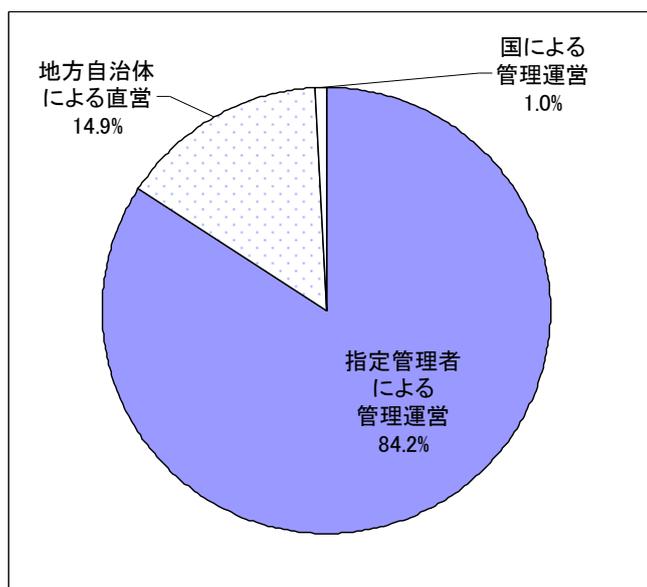
図表 2-4 障害者スポーツ施設の設置者別の設置根拠



### (5) 障害者スポーツ施設の管理運営主体

図表 2-5 には、障害者スポーツ施設の管理運営主体について示した。84.2%が指定管理者による管理運営、14.9%が地方自治体による直営、1.0%が国による管理運営であった。8割以上が指定管理者に施設の管理運営を委託している。あわせて、指定管理者の内訳を図表 2-6 に示した。これを見ると、「社会福祉協議会・社会福祉事業団・リハビリテーション事業団」が6割以上と最も多かった。また、割合としては多くはないものの、「障害者スポーツ協会」「体育協会・スポーツ振興事業団」「民間事業者」によって管理運営されている施設の存在も明らかとなった。

図表 2-5 障害者スポーツ施設の管理運営主体(N=114)



図表 2-6 障害者スポーツ施設の指定管理者の内訳(N=93)

分類	割合 (%)
社会福祉協議会・社会福祉事業団・リハビリテーション事業団	64.5
障害者スポーツ協会	7.5
体育協会・スポーツ振興事業団	10.8
民間事業者	5.4
スポーツ団体	2.2
自治体	1.1
労働者協同組合	2.2
その他	6.5

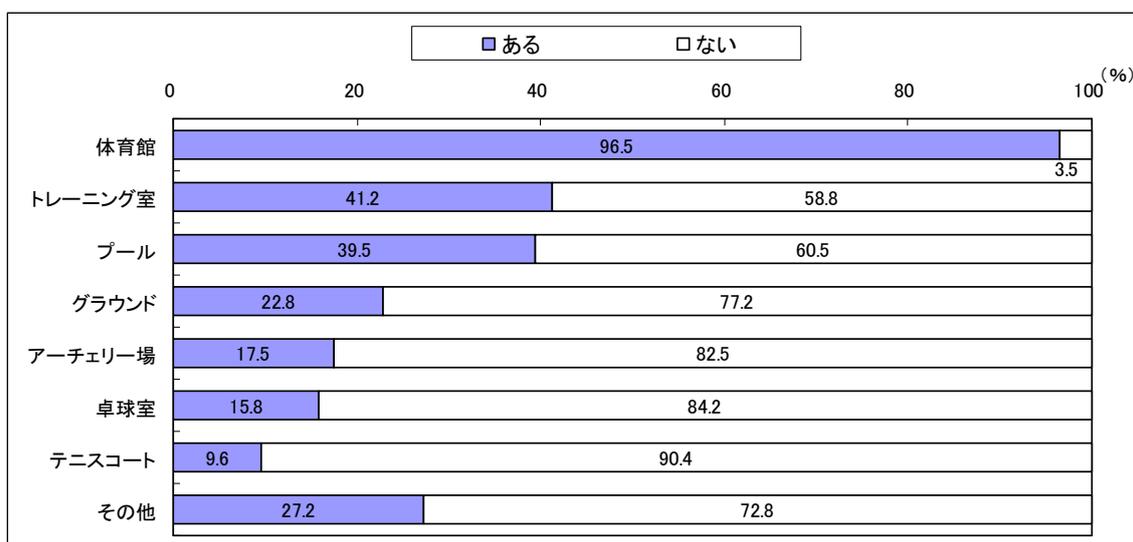
## 2. 2 障害者スポーツ施設に付帯する施設

障害者スポーツ施設に付帯する施設について、図表 2-7 に示した。付帯施設は「体育館」「トレーニング室」「プール」「グラウンド」「アーチェリー場」「卓球室」「テニスコート」の7種で尋ね、これ以外の施設を「その他」で示した。

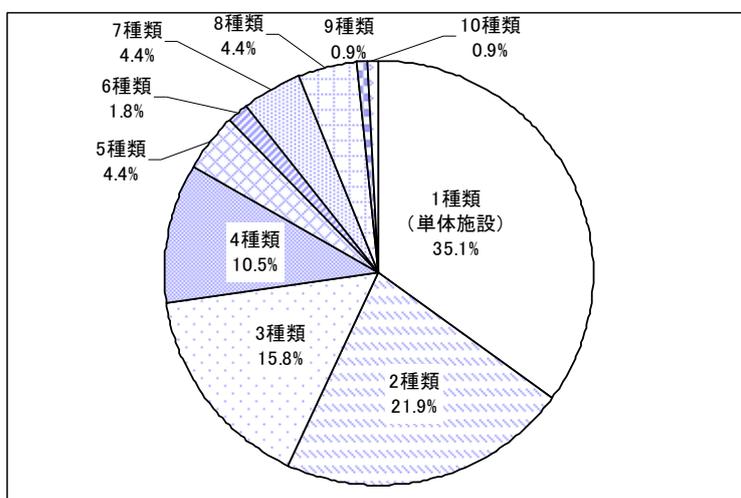
最も多いのは「体育館」で、全体の 96.5%の障害者スポーツ施設で整備されている。次いで「トレーニング室」41.2%、「プール」39.5%、「グラウンド」22.8%、「アーチェリー場」17.5%、「卓球室」15.8%、「テニスコート」9.6%であった。また、「その他」の施設には「盲人卓球室(サウンドテーブルテニスの実施が可能な施設)」「ゲートボール場」「機能回復訓練室(専門スタッフの指導の下、損なわれた身体機能の回復や残された機能の開発を図る施設)」などが含まれる。

障害者スポーツ施設を「その他」を含めた付帯施設別に見ると、単体の施設が 35.1%と全体の 3 分の 1 を占め、付帯施設が 2 種類の施設の 21.9%と合計すると 5 割を超える(図表 2-8)。また、単体施設 40 か所のうち、体育館が整備されている施設が38か所、プールが整備されている施設が2か所であった。このことから、障害者スポーツ施設の約 3 分の 1 が体育館単体の施設であることが分かる。

図表 2-7 障害者スポーツ施設に付帯する施設(N=114:複数回答)



図表 2-8 障害者スポーツ施設の付帯施設数(N=114)



## 2. 3 障害者スポーツ施設の利用状況

### (1) 総利用者数

障害者スポーツ施設の利用状況を見ると、付添いなどを含めた2011年度の総利用者数(108か所の合計、延べ人数)は8,216,239人であり、障害者の総利用者数(104か所の合計、延べ人数)は261万8,683人であった。このことから、健常者と障害者の区別なく利用者数を把握している施設があるため単純な比較はできないが、障害者の利用よりも健常者(付添いなどを含む)の利用の方が多いたことが推察される。

2011年度で最も障害者の総利用者数が多かったのは、「大阪市長居障がい者スポーツセンター」の251,800人であり、次いで「障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)」の21万8,347人、「東京都障害者総合スポーツセンター」15万8,877人となっている。この3か所を含め、障害者の年間総利用者数が10万人を超える施設が6か所あるが、これらは東京都、神奈川県、埼玉県、大阪府といずれも大都市圏にあり、体育館・プール・トレーニング室を含む4種類以上の施設が整備されている。

### (2) 障害別の利用者数

障害別に利用者数を把握している障害者スポーツ施設53か所(2011年度)について、利用状況を図表2-9に示した。2011年度の利用者は、肢体不自由者(857,569人)が最も多く、次いで知的障害者(495,148人)が多い。一方、発達障害者(1,207人)の利用が最も少なかった。

図表 2-9 障害別の利用者数(2011年度)

都道府県	番号	名称	肢体	視覚	聴覚	内部	重複	知的	精神	発達	その他
北海道	1	札幌市身体障害者福祉センター	3,302	2,040	9,360	—	—	—	—	—	—
	2	苫小牧市心身障害者福祉センター体育館	911	218	339	—	—	271	—	—	1,574
	3	サン・アビリティーズくしろ	3,430	—	1,314	323	—	—	—	—	—
青森県	4	青森県身体障害者福祉センター(ねののき会館)	1,327	44	162	98	—	1,669	528	—	2,683
岩手県	6	ふれあいランド岩手	4,999	399	628	933	190	4,238	1,010	0	341
宮城県	9	宮城県障害者総合体育センター	—	—	—	—	—	2,039	742	—	—
秋田県	12	大館市立中央公民館(旧 サン・アビリティーズ大館)	128	—	60	—	—	—	—	—	—
	13	秋田県社会福祉会館	435	449	30	0	0	1,991	177	0	240
茨城県	18	水戸サン・アビリティーズ	2,360	—	—	—	—	2,572	339	—	—
	19	塙ヶ丘スポーツセンター	143	25	423	—	35	1,029	—	—	—
栃木県	20	宇都宮市サン・アビリティーズ	6,126	3,112	4,362	—	—	—	—	—	7,838
	21	若草アリーナ	669	1	205	—	—	1,817	—	—	—
群馬県	23	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	25,350	1,444	1,125	612	1,026	5,636	2,031	—	3,241
	26	群馬県立ゆうあいピック記念温水プール	4,647	140	133	123	134	1,741	196	—	12,161
埼玉県	27	埼玉県障害者交流センター	59,089	5,319	10,314	4,434	1,292	21,942	5,741	—	1,072
東京都	31	東京都多障障害者スポーツセンター	62,626	4,916	6,564	1,518	6,872	27,007	4,921	—	753
	32	東京都障害者総合スポーツセンター	84,746	13,728	5,984	2,127	7,293	35,477	8,901	621	—
神奈川県	34	障害者スポーツ文化センター(横浜ラホール)	80,570	4,712	2,741	4,108	5,216	23,152	6,110	—	—
新潟県	37	新潟県障害者交流センター(新潟ふれあいプラザ)	20,529	1,332	2,020	355	824	7,454	2,750	—	—
富山県	40	サン・アビリティーズ滑川	1,022	—	400	—	—	133	—	—	—
山梨県	43	山梨県立あけぼの医療福祉センター	1	—	—	—	—	762	—	—	—
長野県	44	長野県障害者福祉センター(サンアップル)	20,696	571	584	1,467	1,694	5,704	3,127	—	1,402
	45	サンスポーツ駒ヶ根	2,242	5	5	70	346	1,426	693	—	—
静岡県	48	静岡県身体障害者福祉センター	23,467	139	89	156	—	104	100	50	100
愛知県	50	名古屋身体障害者スポーツセンター	20,123	7,945	1,300	860	—	7,734	1,567	—	1,072
滋賀県	58	滋賀県立障害者福祉センター	15,228	546	981	1,279	—	15,462	2,558	—	394
	59	信楽体育館	26	—	—	—	—	—	—	—	—
京都府	61	京都市障害者スポーツセンター	42,036	4,515	4,349	10,370	—	24,736	8,846	—	—
大阪府	63	大阪府立福スポーツセンター	1,314	93	71	259	81	11,034	86	—	—
	64	大阪市長居障がい者スポーツセンター	60,035	17,882	5,052	4,003	—	79,526	11,924	—	11,199
	65	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター(アミティ舞洲)	38,676	3,010	3,192	2,113	4,821	65,982	7,953	—	394
	66	大阪府立障がい者交流促進センター(フライングプラザ大阪)	29,971	2,553	3,737	5,250	—	20,343	3,024	—	—
兵庫県	69	兵庫県立スポーツ交流館	29,046	977	595	214	—	4,284	1,075	—	—
	70	こらべ市民福祉交流センター(神戸市立市民福祉スポーツセンター)	9,681	1,269	321	1,445	—	11,328	—	—	2,028
	71	しあわせの村	722	—	—	—	—	—	—	—	—
	72	西宮市総合福祉センター	12,215	1,660	492	1,861	1,717	4,927	1,355	—	6,999
奈良県	76	奈良県心身障害者福祉センター	2,177	316	1,249	103	—	8,065	193	—	—
広島市	85	広島市心身障害者福祉センター	41,826	7,293	5,958	716	—	26,465	2,647	—	1,378
	86	広島県立リハビリテーションセンター(スポーツ交流センター・おりづる)	27,733	1,302	1,330	1,420	—	7,220	3,315	—	12,532
山口県	88	下関市障害者スポーツセンター	—	—	—	—	—	5,572	368	36	1,130
	90	山口県身体障害者福祉センター	2,642	1,435	362	—	—	—	—	—	—
香川県	92	かがわ総合リハビリテーションセンター	362	7	14	8	—	339	21	—	—
高知県	95	高知県立障害者スポーツセンター(高知勤労身体障害者体育館)	10,543	1,059	621	147	—	9,262	3,031	—	20,517
福岡県	96	福岡市立障がい者スポーツセンター	31,102	5,043	2,434	1,206	—	25,909	3,575	—	1
	97	クローバープラザ	8,571	700	709	2,175	11	2,495	566	—	—
	98	北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」	5,115	265	297	85	—	9,714	1,057	—	—
熊本県	105	熊本県身体障がい者福祉センター	7,032	1,171	1,411	—	—	—	—	—	—
大分県	107	大分県身体障害者福祉センター	5,313	98	238	733	—	690	1,272	—	—
	108	別府市身体障害者福祉センター	3,591	650	39	25	—	470	1,440	—	—
鹿児島県	111	鹿児島県立ゆずの里	33	—	—	—	—	—	—	—	—
	112	サン・アビリティーズ川内	2,000	70	—	120	—	700	—	—	—
	113	鹿児島県障害者自立交流センター(ハートピア鹿児島)	16,641	3,264	3,473	2,402	—	5,727	2,279	—	298
沖縄県	114	サン・アビリティーズうらごえ	25,000	2,000	3,000	—	—	1,000	500	500	—
合計			857,569	103,717	88,067	53,118	31,552	495,148	96,018	1,207	89,347

## 2. 4 スポーツ指導者の配置状況

### (1) 有給又は有償のスポーツ指導者

障害者スポーツ施設に勤務する有給又は有償のスポーツ指導者について尋ねたところ、114 か所のうち、74 か所(64.9%)で1人以上のスポーツ指導者が存在すると回答した。最も多くの指導者がいる施設は72人、最も少ない施設は1人であった。少なくとも1人以上指導者がいる施設における指導者数の平均値は12.7人、中央値は5人であり、指導者がいない施設も含めると、指導者数の平均値は8.3人、中央値は3人であった。

### (2) 障害者スポーツ指導に関わる有資格者

障害者スポーツ指導に関わる有資格者の配置の有無について尋ねたところ、114 か所のうち、68 か所(59.6%)で有資格者がいると回答した。また、指導者資格の種類について示したものが図表 2-10 である。これを見ると、「初級障害者スポーツ指導員」が割合、人数ともに最も多く、5割を超える施設に存在する。また、「中級障害者スポーツ指導員」「上級障害者スポーツ指導員」は約3分の1の施設に存在している。「上級障害者スポーツ指導員」の人数が「中級障害者スポーツ指導員」より多いのが特徴的である。

図表 2-10 障害者スポーツ指導に関わる有資格者の配置状況(N=114)

資格名	割合(%)	施設数(カ所)	人数(人)
初級障害者スポーツ指導員	53.5	61	213
中級障害者スポーツ指導員	32.5	37	79
上級障害者スポーツ指導員	33.3	38	122
障害者スポーツコーチ	18.4	21	28
障害者スポーツトレーナー	0.9	1	1
福祉レクリエーションワーカー	1.8	2	2
その他	8.8	10	40

## 2. 5 障害者スポーツ施設の実施事業

障害者スポーツ施設で実施されている事業について見ると、114 か所のうち、「スポーツ大会」を実施している施設が 58 か所(50.9%)、「スポーツ教室」を実施している施設が 67 か所(58.8%)、「巡回スポーツ教室」を実施している施設が 27 か所(23.7%)であった。

図表 2-11 障害者スポーツに関する事業の実施状況(N=114)

事業	割合(%)	施設数(カ所)
スポーツ大会	50.9	58
スポーツ教室	58.8	67
巡回スポーツ教室	23.7	27

## 2. 6 付帯施設数と指導者数との関係

「体育館」「プール」「グラウンド」などの付帯施設が 5 種類以上の施設を対象に、有給また有償のスポーツ指導者数、日本障害者スポーツ協会の障害者スポーツ指導員(中級以上)の有資格者数、巡回スポーツ教室の実施数を図表 2-12 に示した。付帯施設数が 5 種類以上の施設では、有給又は有償のスポーツ指導者が必ず存在すること、ほとんどの施設で中級障害者スポーツ指導員、又は上級障害者スポーツ指導員がいることが明らかになった。

図表 2-12 付帯施設が 5 種類以上の施設の有給・有償指導者数、有資格者数

No.	施設名	付帯施設数 合計	有給・有償 指導者数 合計	有資格者 合計 (中級以上)
10	元気フィールド仙台	10	25	0
71	しあわせの村	9	19	0
27	埼玉県障害者交流センター	8	21	7
32	東京都障害者総合スポーツセンター	8	72	11
34	障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)	8	68	13
75	神戸市立王子スポーツセンター	8	36	1
95	高知県立障害者スポーツセンター(高知勤労身体障害者体育館)	8	9	7
6	ふれあいランド岩手	7	17	1
23	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	7	15	6
44	長野県障害者福祉センター(サンアップル)	7	20	14
65	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター(アミティ舞洲)	7	43	11
97	クローバープラザ	7	5	0
61	京都市障害者スポーツセンター	6	10	9
64	大阪市長居障がい者スポーツセンター	6	37	13
66	大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)	5	32	8
85	広島市心身障害者福祉センター	5	14	8
86	広島県立リハビリテーションセンター(スポーツ交流センター・おりづる)	5	27	3
96	福岡市立障がい者スポーツセンター	5	19	14
113	鹿児島県障害者自立交流センター(ハートピア鹿児島)	5	28	5

## 2. 7 障害者スポーツ協会及びリハビリテーションセンターとの連携状況

### (1) 障害者スポーツ協会との連携状況

都道府県が設置者である障害者スポーツ施設(45 か所)について、その都道府県下に障害者スポーツ協会があるかを尋ねたところ、34か所(75.6%)があると回答した。協会があると回答した施設と障害者スポーツ協会との関係を見ると、約6割が障害者スポーツ協会と連携していることが分かった(図表 2-13)。さらに、23.5%の施設が「施設の運営団体に障害者スポーツ協会の事務局がある、又は障害者スポーツ協会が施設を運営している」ことが分かった。市町村が設置者である障害者スポーツ施設(68 か所)について、障害者スポーツ協会の有無について見たところ、19か所(27.9%)があると回答した。協会があると回答した19か所の施設と障害者スポーツ協会との関係を見ると、約8割が障害者スポーツ協会と連携していることが分かった。さらに、36.8%の施設が「施設の運営団体に障害者スポーツ協会の事務局がある、又は障害者スポーツ協会が施設の運営をしている」ことが分かった。

図表 2-13 障害者スポーツ施設と障害者スポーツ協会の関係

	都道府県(N=34) (%)	市町村(N=19) (%)
施設運営団体に障害者スポーツ協会の事務局がある 又は、障害者スポーツ協会が施設運営している	23.5	36.8
障害者スポーツ協会と連携している	38.2	42.1
障害者スポーツ協会と連携していない	26.5	15.8
その他	11.8	5.3

## (2) リハビリテーションセンターとの連携状況

リハビリテーションセンターは、障害者の機能回復訓練から社会復帰までの一貫したサービスを行う施設である。障害者スポーツ施設の中に、リハビリテーションセンターの名称が付いている施設があることから、障害者スポーツ施設とリハビリテーションセンターの関係を調べた。

都道府県が設置者である障害者スポーツ施設(43 か所)とリハビリテーションセンターとの関係を見ると、約 4 分の 1 がリハビリテーションセンターと連携していることが分かった(図表 2-14)。その中で、「リハビリテーションセンターと同じ団体が運営している、又は、リハビリテーションセンターに付帯する施設がある」施設は、16.3%であった。また、市町村が設置者である障害者スポーツ施設とリハビリテーションセンターとの関係を見ると、約 2 割がリハビリテーションセンターと連携していた。さらに、13.6%の施設が、「リハビリテーションセンターと同じ団体が運営している、又は、リハビリテーションセンターに付帯する施設がある」ことが分かった。

図表 2-14 障害者スポーツ施設とリハビリテーションセンターの関係

	都道府県 (N=43)	市町村(N=59) (%)
リハビリテーションセンターと同じ団体が運営している またはリハビリテーションセンターに付帯する施設である	16.3	13.6
リハビリテーションセンターとは運営団体は異なるが、連携している	9.3	5.1
リハビリテーションセンターとは連携していない	67.4	78.0
その他	7.0	3.4

### 3. 調査結果(事例調査)

#### 東京都障害者総合スポーツセンター

- 障害者専用のスポーツ施設
- 初心者からアスリート、軽度障害者から重度障害者まで、様々なニーズに合わせた支援プログラムを医師、理学療法士、栄養士と連携しながら提供
- 多くの団体と連携しながら、地域での障害者スポーツ普及を目指して、教室や体験会などを開催
- 本人、家族、地域住民との相互理解を図るため、交流行事を開催



#### 1. プロフィール

名称	東京都障害者総合スポーツセンター
所在地	東京都北区十条台 1-2-2
開設年	1986年
設置者	東京都
指定管理者	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

#### 2. 施設概要

体育館	746.4 m <sup>2</sup>
屋内プール	温水・25m／6コース
グラウンド	200m／6コース、直線 110mコース
その他の施設	スポーツ広場(640 m <sup>2</sup> )、テニスコート(2面)、アーチェリー場(50m)、卓球室、サウンドテーブルテニス室、トレーニング室 上記以外に宿泊施設(和室3室、洋室3室)

#### 3. 施設の特長

##### ◆多様な支援プログラムの提供

生涯スポーツ社会の実現のために、障害児を対象にしたプログラムや中途障害者への効果的なリハスポーツプログラム、重度障害者が継続してスポーツを楽しめるプログラムなど、医師、理学療法士、栄養士と連携しながら、多種多様なニーズに合わせてプログラムを提供している。



##### ◆地域振興の推進

身近な地域でスポーツ・レクリエーション活動を行えるように、区市町村や社会福祉協議会などと協働して、スポーツ教室やスポーツ大会を開催している。さらに、学校、社会福祉施設、地域スポーツクラブ、企業などで障害者スポーツ体験教室や障害者スポーツ紹介イベントを実施して、地域での普及に励んでいる。

#### 4. 運営状況

実施事業	<p>1) 健康スポーツ相談 医師や理学療法士、スポーツスタッフと相談の上、安全に実施できる個別支援プログラムを作成</p> <p>2) スポーツ教室 2011年度は、導入教室(196回、2,170人が参加)、入門教室(107回、1,343人が参加)、中・上級教室(65回、755人が参加)など、個人のレベルに応じたプログラムを提供。地域住民との交流を目的にした地域交流教室(バドミントン、卓球、テニスなど32回、1,629人が参加)や重度障害者対象教室(水泳教室を10回、166人が参加)なども実施</p> <p>3) 大会 初心者から上級者までレベルに応じて、グラウンド・ゴルフ大会やアーチェリー大会などを開催。2011年度は9大会に約2,000人が参加</p> <p>4) 地域交流事業 センター利用者や家族、地域住民との相互理解を図るために、納涼祭や障害者スポーツ体験会を開催</p> <p>5) 講習会 身近な地域での継続したスポーツ活動を支える人材育成のため、スポーツボランティア講習会、スポーツリーダー養成のためのフォローアップ講習会などを実施</p> <p>6) 地域振興事業 区市町村、社会福祉協議会、スポーツ振興財団、地域スポーツクラブ、福祉センター、特別支援学校、大学・専門学校、高校などと連携して、障害者スポーツ指導員やボランティアの育成を図っている。2011年度は、76回、約3,100人が参加</p>
体制	施設長1人、庶務担当24人、事業担当44人
運営費	約3億5,800万円(2011年度)
利用者数	延べ人数205,598人(2011年度)
利用料金	施設利用料は無料。宿泊料は障害者とその介護者(1人に限る)は1泊1,500円、それ以外は1泊2,000円

## 障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)

- スポーツを通し、障害者の QOL 向上とノーマライゼーション社会の実現を図る
- リハビリテーションの観点から、障害者の自立した活動を促し、社会参加機会の増加を創出する
- 医師や理学療法士等のリハビリテーション専門職と有機的に連携し、より重度な障害者がスポーツを楽しむ環境を整備する



### 1. プロフィール

名称	障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)
所在地	横浜市港北区鳥山町 1752
開設年	1992 年
設置者	横浜市
指定管理者	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

### 2. 施設概要

体育館	メインアリーナ(1,500 m <sup>2</sup> )、サブアリーナ(約 290 m <sup>2</sup> )、ウォーキングコース
屋内プール	25m/6 コース
グラウンド	屋外グラウンド、地下グラウンド(1 周 160m/3 コース、内 1 コースには、視覚障害者ランニング誘導マシン・ガイドランナーが設置されている)
その他の施設	100m直線コース(3 コース)、テニスコート(1 面)、ボウリングルーム(4 レーン)、アーチェリー場、トレーニングルーム、サウンドテーブルテニス室、ローンボウリング場 文化施設:シアター、おもちゃ図書館、創作工房、多目的室



### 3. 施設の特長

#### ◆ 経緯

設立当初から隣接するリハビリテーションセンターとの連携を想定し、施設の管理・運営もリハビリテーションセンターと同じ団体が行っている。

#### ◆ コンセプト

リハビリテーションのゴールとなる、QOL の向上やノーマライゼーション社会の実現を目指し、より多くの障害者がスポーツを楽しむ環境を構築する。

◆ 方針

① 「地域支援」

横浜ラポールの利用率向上ではなく、障害者が地域で楽しめるスポーツの普及ノウハウを蓄積していくのが本来の目的である。市内の各区スポーツセンターなどに出向き、そこで実施可能なグラウンド・ゴルフ、卓球、ボッチャなどを実施することで、地域での障害者スポーツの定着を図る。活動を通じて、健常者の障害者理解につなげることも目的としている。

② 「自立支援」

障害者と健常者が交流するイベントなどでは、健常者が善意で、障害者本人ができることまで手伝ってしまい、障害者の多くが依存傾向に陥りやすい。リハビリテーション的観点から、障害者の自立を促す方が良い場合には、障害者自身が楽しめて、モチベーションが維持できるように、努力して達成感を得られる目標を専門家の助言を踏まえて設定している。

③ 「重度支援」

スポーツ活動を行うことが困難な重度障害者こそ、横浜ラポールの支援が必要となる。現状、スポーツとの関わりが難しい障害者を対象に、リハビリテーションセンターと連携し、医師やセラピストと協力して支援する。全ての障害者がスポーツを「する」ことができるわけではないので、スポーツに楽しく取り組む方法として、「みる」「つたえる」「つくる」概念を提案している。スタジアム観戦、テレビ観戦、写真撮影、チームのマネージャーになる等、多様な方法でスポーツと関わられるように支援している。

4. 運営状況

実施事業	1) スポーツ教室 396回(2011年度) 主な種目:リハビリテーション・スポーツ <sup>1)</sup> 、水泳、卓球、オリジナルスポーツ <sup>2)</sup> 等 2) 地域支援プログラム <sup>3)</sup> 308回(2011年度) 主な種目:ボッチャ、卓球、グラウンド・ゴルフ等
体制	スポーツ文化施設のため、スポーツ事業課(課長3人、指導員22人。保健師、栄養士が非常勤で勤務)に加え、管理・文化事業課、聴覚障害支援課がある。
運営費	約85,300万円(2011年度)
利用者数	全体:434,873人 障害者:218,347人(文化施設利用者含む)
利用料金	障害者の利用料は無料。健常者は有料(大人350円、小人250円)
教室料金	個別指導500円 <sup>4)</sup> 、各種教室300円 <sup>5)</sup>

- 1) 障害別に様々な種目を体験しながら、個々に自分に合った種目を選択していくための導入部分となる教室
- 2) 既存の種目ではなく、参加者の機能に応じて楽しく参加できる種目をラポールが独自に開発して導入しているプログラム
- 3) 巡回教室にとどまらず、地域での人材育成研修や自主的なサークル活動の支援等を含む
- 4) マンツーマンで指導する場合の1回単価
- 5) 教室参加費の1回単価(5回の教室ならば300円×6回=1,800円)

## 北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」

- 民間フィットネス施設を障害者スポーツ施設にリニューアル
- 健常者向けプログラムをインストラクターが提供。利用者の満足度を確保しながら、収益性を高めるモデルを目指す
- 指定管理者の公募条件に障害者スポーツ指導者資格保有者を明記



### 1. プロフィール

名称	北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」
所在地	北九州市小倉北区三郎丸 3-4-1
開設年	2012 年(※移転前施設は 1976 年開設)
設置者	北九州市
指定管理者	社会福祉法人北九州市福祉事業団 (ミズノスポーツとの共同事業体)

### 2. 施設概要

体育館	1,000 m <sup>2</sup>
屋内プール	温水・25m/5 コース、徒渉スペース有
その他の施設	卓球室、トレーニング室、多目的室、大スタジオ、小スタジオ

### 3. 施設の特長

#### ◆移転の経緯

1976 年設立の勤労身体障害者体育施設(旧・北九州市障害者スポーツセンター)が老朽化しており、今後の維持補修を考える時期にあった。同じ時期に、コナミスポーツクラブが北九州市から賃借してフィットネスクラブを運営していた建物が、賃借期間満了により市に返却された。その建物に、障害者スポーツセンター機能が移転、バリアフリー対応に改装し、2012 年にリニューアルオープンした。旧施設よりも体育館、プールが拡張し、更にプールは温水プールに変更した。

#### ◆健常者との共同利用

コナミスポーツクラブがフィットネス施設を運営していた頃からの継続利用者がおり、現在でも利用者の約 6 割が健常者である。そのため、障害者向けのスポーツプログラムに加えて、健常者向けのスポーツプログラムも実施している。健常者向けのプログラムは、大スタジオやプールを活用したプログラムが多い。障害者スポーツ施設が、専門インストラクターを設けて健常者向けにプログラムを提供しているのは日本初である。障害者・健常者双方の利用者の満足度を確保しながら、収益性向上可能なモデルを目指している。

#### ◆利用時間

障害者専用時間(木曜日 12:00~21:00、日曜日 9:00~12:00)を設定

#### 4. 運営状況

<p>実施事業</p>	<p>1) 巡回・出張事業(水泳教室、スポーツ教室／年間約 150 回)                  2) 障害者スポーツ大会開催事業(ボッチャ大会、知的障害者バスケットボール大会、ふうせんバレーボール大会)                  3) 交流促進事業(学校交流会、ふれあいバリアフリー、スポーツ交流デー)                  4) スポーツボランティア育成・養成事業(障害者スポーツ指導員クラブ(SKET)の事務局として、ボランティアの育成を図る)                  5) 生涯スポーツ支援事業(スポーツ教室等／年間約 340 回)                  6) 余暇活動支援事業(放課後スポーツ教室／年間 16 回)</p> 
<p>体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画・指導係 12 人全員、総務・管理係 8 人中 4 人が障害者スポーツ指導者資格を保有</li> <li>・ ミズノスポーツが一般向けのプログラムを担当(週 30 時間)</li> <li>・ プール監視業務もミズノスポーツに委託</li> <li>・ 指定管理者の公募条件に職員の半数以上が障害者スポーツ指導者資格を保有、又は取得予定であることが明記</li> </ul>
<p>運営費</p>	<p>約 2 億 2,000 万円(2012 年度) 旧施設は年間約 5,000 万円</p>
<p>利用者数</p>	<p>全体:77,446 人、障害者:25,154 人(2012 年度 4 月～10 月)  <small>参考(2011 年度旧施設利用者数 全体:33,846 人、障害者:16,533 人)</small></p>
<p>利用料金</p>	<p>施設利用料:障害者無料、健常者(1 回 350 円～)                  スポーツプログラム受講料:障害者・健常者共に有料(1 回 500 円)</p>